

3月 園だより 恩恵幼稚園



春の気配を感じる時期となりました。卒園式まであとわずか、共に過ごしたお友だちとのかかわりの中で、希望に満ちた子どもたちの笑顔と声が園全体に染み渡る充実の時です。神様のお守りの中で成長したことを感謝しつつ過ごしたいと思います。

2020 年度年主題 こころが満たされる

2020 年度年聖句

「喜びと平和とであなたがたを満たす」ローマ 15:13

3月の月主題 希望をもって

3月の聖書のことば

「わたしは必ずあなたと共にいる」出エジプト記 3:12

3月の月のねがい

- ・これまでまもってくださった神さまが、これからも導いてくださることを信じ、感謝する。
- ・様々な場面で自分の考えを表し、友だちと互いに分かち合いながら取り組む。
- ・大きくなったことを喜び、新しい生活に希望をもつ。

3月の行事予定

- 1日(月) スイミング (ばら・ゆり) 9:10 出発
 - 2日(火) お茶 (ゆり・ちゅうりっぷお招き)
 - 4日(木) 体操 (ばら)
 - 5日(金) お楽しみ会
 - 7日(日) 卒園礼拝 (ばら) 武生自由キリスト教会 9:15~
 - 8日(月) 味噌作り (ばら・ゆり)
 - 9日(火) 絵本 読み聞かせ
 - 11日(木) 体操 (ゆり)
 - 12日(金) 給食休み 全員お弁当
英語 (ばら)
 - 17日(水) 給食終了
 - 18日(木) すみれ・たんぼぼ 3学期終了
卒園式準備の為お弁当終了後降園
 - 19日(金) 卒園式 9:30~
- ※延長保育休み: 4・11・16・17・18・19日
- 20日(土)~4月7日(水) 春休み
 - 4月 8日(木) 新学期始まり・午前中保育
 - 4月 9日(金) 午前中保育
 - 4月 10日(土) 入園式 10:00~(参加:ばらと新入園児親子)



【 お知らせとお願い 】

- ばら組は一年間お茶のお稽古をしてきました。
2日(火)に、ゆり・ちゅうりっぷ組がお客様として招待を受けます。
- 5日(金)のお楽しみ会は、子どもと教師だけで行います。お昼はお楽しみ給食です。
- 7日(日)は、ばら組の卒園礼拝です。場所は、万代町の武生自由キリスト教会(越前武生駅の裏側です:TEL 22-1064)です。朝9時15分から礼拝が始まりますので、時間に遅れないように、保護者様とお子様は一緒にいらしてください。10時ごろ終わる予定です。(密を避けるために保護者様は1名参加で、御兄弟のご参加はご遠慮ください。)
当日礼拝の途中で、保護者様とお子様も献金がありますので、お子様の献金はおうちにあります袋にお入れになりお子様にお持たせください。
- 8日(月)は、マルカワ味噌の河崎さんに味噌づくりを教えてください。幼稚園の給食で使う一年分の味噌20kgを作ります。ばらぐみとゆりぐみは三角巾とマスクの準備をお願いします。
- 12日(金)の給食は、都合によりお休みです。全員お弁当をお願いします。
- 学期末整理の為、延長保育は15日(月)で終了させていただきます。
- 今年度の資源回収も皆様のご協力により、収益金の一部で、卒園生に学校で使う引き出しを贈ることができます。ありがとうございました。
- すみれ組・たんぼぼ組のお子様は18日(木)が3学期終了で、卒園式はお休みです。尚、卒園式の準備の為、18日(木)はお弁当終了後、降園です。全ての荷物を持ち帰りますので全員お迎えをお願いします。



たんぼぼ・すみれ 12:10
ちゅうりっぷ・ゆり 12:20
ばら 12:30



- 19日（金）は卒園式です。ばら組、ゆり組、ちゅうりっぷ組のお子様と、ばら組の保護者様2名までの参加です。お子様が体調を崩さないようにお願いします。
- ご注文の新年度用品をお渡ししましたが、冬帽子、夏帽子、出席ノートは4月にお渡しの予定です。

【お願い】新年度ばら組さんも給食の配膳をしますので、エプロン、三角巾、マスクを4月までにご用意ください。エプロンも三角巾も自分で身支度ができるように紐ではなくゴムに付け替える等ご協力をお願いします。マスクは使い捨てではなく、ガーゼマスクをご用意ください。



3月の礼拝

月主題『希望をもって』

3月主題聖句

「わたしは必ずあなたと共にいる」 出エジプト記 3:12

解説：希望と願望

「行けたら行く」とは、「絶対行かないとは言わないけど、たぶん行かない」という意味です。それに対し、「わたしは必ずあなたと共にいる」という神の約束は、「必ず」なのです。聖書における「希望」は、人間の側の一方向的な「願望」ではなく、神はご自分のお約束については、真実なお方であるという信頼です。

神の言葉による保証

40年間、羊飼いの仕事をしていたモーセに、突然神さまからの呼びかけがありました。しかもその内容は、「今、行きなさい。わたしはあなたをファラオのもとに遣わす。わが民イスラエルの人々をエジプトから連れ出すのだ。」（出エジプト3:10）という、とてつもなく大きな使命でした。しり込みするモーセに与えられたのが今月の聖句です。「わたしは必ずあなたと共にいる。このことこそ、わたしがあなたを遣わすしるしである。」モーセは他に何の保証もなく、ただ、この言葉だけに信頼して出発しました。その後、神さまが共におられることを示す数々のしるし（奇跡）を経験するのですが、彼はまず、言葉に信頼したのです。

人間同士の取引の場合は、契約書を交わします。約束と違った場合の保証を求めます。しかし、神さまの場合は、言葉そのものが何よりの保証なのです。信仰とは、神の言葉そのものに信頼することです。

神の言葉への信頼

進学、就職、転居など、私たちが新しい状況に臨むとき、特に、全くの未知の領域に踏み出していくとき、恐れや不安があるのは当然です。そのこと自体は不信仰ではありません。ただ、さまざまな困難に直面するとき、特に、自分がとても担いきれないようなことに遭遇するとき、神さまはご自身の約束を守ってくださるお方だということを忘れないでいましょう。

コロナの終息の見通しの立たない中、年長の子もたちは園を旅立ってゆきます。パウロと共に「今、神とその恵みの言葉（かみさまのお約束）とにあなたがたをゆだねます。」（使徒言行録 20・21）と祈りつつ、子どもたちを送り出しましょう。

（「キリスト教保育」誌3月号要約・抜粋）

